



▲「お三夜さん」と呼ばれる弥勒堂
◀本郷町の人形山車



宇都宮城の北を流れる釜川の西側一帯は、古くは西原と呼ばれており、この付近はその本村であったことから本郷町と呼ばれるようになりました。江戸時代は多くの商家が軒を並べにぎわいました。本郷町には本郷山妙覚院という寺院がありました。この境内にあった「お三夜さん」と呼ばれる二十三夜尊が、今でも大切に祀られています。「お三夜さん」の呼び名の通り、かつては、23日の縁日には本郷町通りに多くの夜店が並び、夜遅くまでにぎわいました。

このように、幸いにも本郷町は戦災の被害が少なく、山車やみこし、明治初期ごろの台帳など、貴重な歴史資料が残されています。こうした資料や伝え聞いている伝統文化、戦中戦後からの本郷町の歩みなどを次の代へ正しく伝え、残していきたいと思っています。

また、本郷町通りを北に行くと三峯神社があります。ここはその昔、火事を起こした家がそれぞれ敷地を供出し、防火を願い建立された神社で、みこしも納められています。さらに、甲冑を着けた神功皇后・赤子の応仁天皇・竹内宿禰の3体の人形が乗る、法橋3代目・原舟月により造られた人形山車が伝えられています。



ほんごうち
本郷町
現在の小幡1丁目・泉町辺り

古いまちの呼び名と
こぼれ話を紹介します



小幡1丁目

村山 壽一さん (左)
黒崎 誠一さん (右)

はつらつ宮っこ

今、輝いている市民



日本一になった女子高校生ゴルファー

幼い頃からの夢へ

宇都宮文星女子高等学校 柴田 香奈さん

6月に兵庫県で開催された全日本女子パブリックアマチュアゴルフ選手権で、約160人の出場者の中から見事に優勝を勝ち取った柴田香奈さん。「当日は立ってられないほどの強風で、思うようなゴルフができなかったので、優勝という結果は信じられませんでした。翌日、友達からお祝いのメールがたくさん来て、徐々に実感が湧きました」と振り返ります。



という柴田さん。負けず嫌いな性格も手伝って、夢中になっていきました。「技術だけでなく、精神面も含めてトータルで完璧でないといけない。そこがゴルフの奥深く面白いです。」と魅力を語りま

す。「ゴルフは自分にとって生活の一部。ご飯を食べたり、歯を磨いたりすると同じで、やらないことが考えられない」と話す柴田さん。日々の練習に励むその先には、ゴルフを始めたときから思い描いてきたプロゴルファーという夢があります。強い思いを持ち、夢に向かって走り続ける柴田さんの今後注目です。